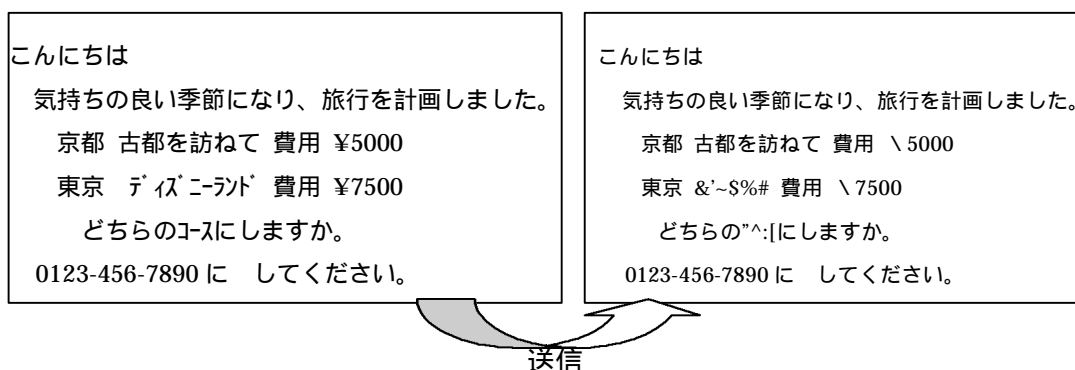


テーマ	電子メール				
概要	電子メールのしくみと使い方を知り、チェーンメールなどの、対処法を知り活用する。				
ねらい	電子メールの正しい使い方の知識を身につけ活用できる力を養うようにしよう。				
関連する主な科目・項目	第4章情報社会を支える情報技術 第3節情報技術の進歩が社会に及ぼす影響	難度	易 ● 普 難	想定時間数	約 2 時間
準備するもの	電子メールソフト	作成者	各 務 友 浩		

1 学習の展開

1) いろいろな文字を送るとどうなるか。

次の文書を電子メールで送信すると、受け取った側ではどんな文書になるだろう。



左のメールを送り、相手を読むと右下のようになった。

どの文字が送れないのだろう。送れない文字を探してみよう。

送れない文字の原因は何だろうみんなで話し合ってみよう。

せっかくの送ったメールも相手が判読不可能な文字になることもある。

半角カナ、外字機種依存の特殊文字（丸数字、ローマ数字、罫線文字、単位文字）は絶対に使わない。

電子メールは様々なルートをたどって相手に届きます。そのルートは世界中のコンピュータを介してとときます。機種も様々です。だから、コンピュータによって文字に対する約束（コード）が違うため、文字が化けてしまうわけです。

- 2) あなたの友達の A 君にこんな電子メールが送られて来たことを聞いたら、あなたなら A 君にどんなアドバイスや注意をしてあげられますか。

こんにちは
このメールを受け取って 5 日以内に他の 3 人の人にメールを出さないと
あなたの身にとっても悪いことが起きるでしょう。
さようなら

チェーンメールは、不幸の手紙などの全文を転送することを強制するメールで、受け取る人の迷惑と連鎖反応適に広がっていくので、ネットワークに重大な負荷を掛ける。指数関数的にメールの量が増大しあつという間に、メールサーバの容量を越えてしまう。

善意のもの、人命に関するものであっても、許されない。あなたがそのようなメールを受け取ってもないようにかかかわらず、決して転送してはならない。

- 3) 他の学校の生徒などに、学校以外の人に電子メールで情報交換をしてみよう。

2 発展的な学習

討論課題

1 電子メールではデマがながれたり、いたずらなどもおきることがある。自分の責任が十分にとれない生徒のみんなが、電子メールアドレスを公にすべきかどうか話し合ってみよう。

2 電子メールはどのように利用していけば有効に活用できるだろうか、また、どのようなことはやらないべきか、まだあまり法律はないが、いたずらなどがあつた場合、法律で禁止したり処罰をしたりすべきだろうか。個人のプライバシーの問題も考えながら、話し合ってみよう。

3 自分が何らかの被害にあつた場合、または友達が被害にあつた場合には、どうすればいいだろうか、考えてみよう。自分が加害者になったり、被害に気づかないこともある点にも注目してみよう。

参考 <http://naibu.jr.chiba-u.ac.jp/itext/kadai.html>